

商工業の2拠点が発足

新生・北秋田市商工会が船出

県連合会北部指導センター

街なかにITプラザも

鷹巣町商工会、阿仁森吉商工会、合川町商工会の3商工会が合併して誕生する北秋田市商工会(伊藤公夫会長)の開所式が4月1日、住吉町の市産業会館で行われ、新たなスタートを切りました。

北秋田地域の商工会の合併は、平成15年7月に合川、森吉、阿仁、上小阿仁の4商工会で合併協定書の調印

伊藤会長、岸部市長らによるテープカットで新生商工会の船出を祝いました



まで進んだものの、本所の位置等の問題で合併には至りませんでした。その後、森吉と阿仁が協議を再開し、平成17年4月に阿仁森吉商工会が誕生しました。

案が浮上したのを契機に、阿仁森吉も加わり3商工会の一本化への道が開けました。

昨年6月15日には基本協定書に調印。その後、実質的な協議を行う北秋田地区商工会合併推進協議会(伊藤公夫会長)が設立され、本格的な協議をスタートしました。

こうして合併のメリットや組織、事務体制などを説明、出された意見などをもとに協議内容を集約し、合併推進協議会の決定を経て各商工会が臨時総会で合併を承認、12月14日、3商工会の会長と立会人の岸部市長がそれぞれ署名捺印し、合併契約書を取り交わしました。今年3月1日には合併認可承認申請書を秋田県知事に提出し、この日を迎えたものです。

本所・3支所

職員20人体制で

産業会館前で開かれた開所式では、はじめに北秋田地域振興局の三浦良則地域企画課長が伊藤公夫会長に合併認可書を交付。

この後伊藤会長が、鷹巣阿仁地域は古くから一つの経済圏として人的

経済的に交流が盛んだった。しかし、人口減少や大型店の進出など商工業者を取り巻く環境は厳しく共通の課題を抱えている。3商工会を新たに捉えなおし再編することは避けて通ることのできない道だった。今後は、単に効率化を求めるだけでなく地域に密着した活動を進め、企業支援、地域振興にまい進したいなどと、決意を述べました。

続いて、伊藤会長、佐藤吉廣・北林昭男両副会長、商工会連合会関係者、岸部市長、吉岡議長らによるテープカットで新生北秋田市商工会の船出が告げられました。

この後の理事会・役員会では執行体制などを確認。会場を移して開かれた祝賀会では、これまでの歩みを振り返りながら、商工会の発足を喜び合いました。

なお、商工会の組織は本所及び3支所の体制となり、本所には経営指導員5人を含め職員11人、3支所については、それぞれ経営指導員1人を含め職員3人が配置となり、職務にあたることになっています。

本所所在地「住吉町12-18(〒621-850)/合川支所「新田目字大野80-1(〒782-2346)/森吉支所「米内沢字寺の下20-3(〒723-149)/阿仁支所「阿仁銀山字下新町119-4(〒822-206)」

商店街共生型広域指導センター「街なかITプラザ」

また同日、大館市から北秋田市に事務所を移転した秋田県商工会連合会北部指導センター「街なかITプラザ」(小笠原正武センター長)が松葉町・銀座通り商店街の一角にオープンし、4月1日、開所式が行われました。

同センターは、商工会員を対象として経営革新や商品開発、販路の拡大などの指導や助言を行う機関で、商店街の中心に設置された店舗型のセンターは全国初。インターネットに接続されたパソコンも常備され、IT関連の指導も受けられます。

小笠原センター長は、商工会員だけでなく、一般の方々にも広く利用してほしいと呼びかけています。



1日オープンした県北地区の商工業の支援拠点「街なかITプラザ」

平成20年度がスタート

岸部市長 年度始めの訓示

平成20年度がスタートした4月1日、市役所本庁舎では、職員の異動に伴う辞令交付式が行われたほか、岸部市長が幹部職員らに前年年度始めの訓示を行ない、職員に奮起を促しました。

誠実・公正に職務を執行

辞令交付式では、市長部局、議会事務局、教育委員会、監査委員会、選挙管理委員会、消防本部で異動になった主幹以上の職員と新採用職員約60人が出席。岸部市長、吉岡興市議会議長、加賀隆寛教育委員長、成田藤雄選挙管理委員長、近藤文廣消防長がそれぞれ辞令を交付しました。



幹部職員を前に年度始めの訓示を行う岸部市長

この後、新採用職員を代表して福祉事務所福祉課に配属された長崎剛生さんが「公務を主体的かつ能率的に運営すべき責務を自覚し、住民全体の

奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを誓います」と宣誓しました。

良いことも負担となることも互いに共有できる市政を

市長訓示では、はじめに「初年度は合併ゼロ年、2年目は計画を立てる年、3年目が実行の年と位置付け市政を進めて来たが、19年度下半期は国体という大きな事業があったうえに、災害への対応で予定していた事業の執行が制約され、半分程度しかできなかった。ただ、皆さんには一丸となって取り組んでもらい、災害復旧ほか、全国植樹祭の準備なども順調に進んでいる」とこれまでを振り返りました。

また、「今年度の重点事業では、全国から1万人以上訪れる全国植樹祭が市をPRする絶好の機会となる。市の医療については、米内沢病院の運営など課題もあるが、方向性はつけてきた。市民病院の建設もだいが進んでいる。来年10月の開院に向け計画に従って事業の執行に取り組みたい」と、気構えを示しました。

職員に対しては、「今回の異動は225人と大規模だったが、一人ひとりが力を発揮できるよう配慮したつもり。合併4年目となる今年度は、4地区が良いことも負担となることも、互いに共有できるような市政を進めたい。職員は大幅に減ったが、力を十分に発揮し職務の執行にあたってほしい」と、積極的な取り組みを求めました。

市長日誌

3月16日～31日

17日(月) 大野台工業団地光ファイバー開通に伴う確認式及び懇談会・交流会に出席(二ツ井パネル事務所、合川支所)

19日(水) 竜森小学校卒業式に出席(竜森小学校) 公立米内沢総合病院用務で秋田大学附属病院を訪問(秋田大学附属病院)

21日(金) 平成20年北秋田市議会3月定例会本会議(市議事堂)

23日(日) 北秋田市美術展表彰式に出席(中央公民館)

24日(月) 東北・治水の今後半世紀を展望する座談会に出席(仙台市)

25日(火) 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議及び議会に出席(公立米内沢総合病院)

27日(木) 秋田県消防広域化推進会議に出席(県議会棟特別会議室) 北秋田市農政懇談会に出席(中央公民館)

28日(金) 秋田県薬事審議会に出席(県議会棟特別会議室)

29日(土) 米代川災害復旧事業着工式、現地式典、会場式典に出席(米代川二ツ井切石地内、能代市二ツ井伝承館) 第2回米代川の総合的な治水対策協議会に出席(能代市二ツ井庁舎)